

Kep-sur-Mer フランス人にも認められた小さな海の街

「ケップ」と聞くと何を思い浮かべるだろうか。シーフード、海……。国立公園や洞窟、塩田や別荘跡地がある事を知っている人は少ないだろう。

ケップ州は2008年まで、カンボット州の一部であった。とても小さな州で、面積はプノンペンの半分ほど、そこに約30,000人が暮らしている。在住外国人も多く、中心部には約600人の外国人が暮らしていると言われている。ヨーロッパ系の観光客が多く、地方の割には雰囲気の良いレストランや、おいしいパン屋さんもある。ケップは、カンボジア人にも人気の観光地のようで、週末のビーチはカンボジア人で溢れ返り、ゴザの上でシーフードを食べながらビールを飲み、皆楽しそうに過ごしている。

そんなケップで、私は観光省に配属され、ケップの観光情報集めや、インフォメーションセンターでの案内をしている。時間がある時は、webサイトを編集したり、同僚にPCの使い方や英語を教えたりもしている。同僚はとてもフレンドリーで、毎



インフォメーションセンターでご案内

JICA Plaza Cambodia

6th floor, Building #61-64, Preah Norodom Blvd., Phnom Penh
tel: 023-211-673

<https://www.jica.go.jp/cambodia/office/about/ngodesk/about.html>

※ご相談がある場合は予約が必要です。



シーフード市場の様子。カニ、エビ、イカ、貝、魚などが所狭しと並んでいる。

日、私のご飯をちゃんと食べているかを気にかけてくれる。オフィスに来ないなどコミュニケーションが大変な時もあるが、私のカタコトのクメール語を一生懸命聞いて、ゆっくり話してくれる同僚の存在は非常にありがたい。あと残り1年強の任期だが、彼らとともに、まだまだ知らないケップの魅力をたくさん探して発信していきたい。

足利 水月 ASHIKAGA Mizuki

宮崎、大阪、東京を転々としてきた28歳。大学では人間科学を専攻。卒業後、3年半広告代理店に勤務。その後協力隊に応募し、現在ケップ州観光省に配属されている。活動はwebサイトの更新やPC教室、州内観光地の取材など。日々マウンテンバイクでケップを走り回り、ついたあだ名は“チコン(=自転車に乗っている)ガール”。